



リレーエッセイ ～かもと～ (古閑先生)

山鹿の冬の祭典、百華百彩❖ 本校生徒の作成した傘も展示♥

風情溢れる豊前街道の古き良き町並みを、和傘や竹を使ったオブジェが鮮やかに彩り、幻想的な世界を演出する「山鹿灯籠浪漫・百華百彩」。その雰囲気は訪れた者の心を打ち、まるで時空を超えたような気持ちにさせてくれます。

昨年引き続き、鹿本高校生が作成した傘が展示されました！

(3月1日まで展示。)



こちらは作成の様子です。この伝統的なイベントに自分の作った傘が飾ってもらえる喜びを感じながら、絵付けにも熱が入っていました！



私は山鹿で生まれ(谷産婦人科)、山鹿で育ち(山鹿幼稚園→山鹿小学校→山鹿中学校→鹿本高校)、母校である鹿本高校に赴任することができ、とても幸せを感じています。幼稚園から小学校、中学校で大好きな先生、憧れる先生に出会い、地元鹿本高校に進学して保健体育教師になりたいという夢を持てたのも、この地域の素晴らしい環境があったからだと思います。

「鹿本高校」のイメージは皆さんどのようなイメージでしょうか。私が卒業したのは平成11年です。私が在籍していたときも鹿本高校は魅力があり、とても充実した日々を送ることができる学校でした。同年代が集まったときは、思い出話が堪えません(笑)

ただ、現在の鹿本高校は違います。さらに変化と進化をしている学校です。私たちの頃は「与えられて、やってみる」そして自律していくことが多かったと思います。でも、現在は「まずはやってみる」というスタンスが定着しつつあります。そこから先生にアドバイスや様々な形の授業展開(教科横断型授業・クロスカリキュラム)から自ら考え問いをたて自律していくという鹿本高校の綱領のひとつ「自主自律」の精神が養われています。教える立場でありながら、もし、私が今、鹿本高校生ならば「こんなことしてみたいな」「これチャレンジしたいな」など考え、楽しむことが数多くあり魅力いっぱい学校になっています。そして、古くから大切にされている「文武両道」の精神も、引き続き重んじられています。後輩たちは楽しいだろうなあとよく思います。だから過去を大切にしながら変化と進化を探究している現在の鹿本高校も大好きです。

私は山鹿で生まれ、山鹿という地域で育ててもらい、鹿本高校で将来を真剣に考えることができました。だからこそ「山鹿のために」なることを一番大切な生徒と共に考え歩いていきたいです。そして、少子化や熊本市内の魅力から近年、生徒数も減少していますが、鹿本高校の魅力をもっと磨き、多くの山鹿の人や近隣の方または全国の皆さんに「鹿本高校」を発信していきたいです。

